2019年度　年間報告書

失敗したって構わない。仲間と共に挑戦するために
志を持って行動しよう！

一般社団法人 千歳青年会議所

事務局

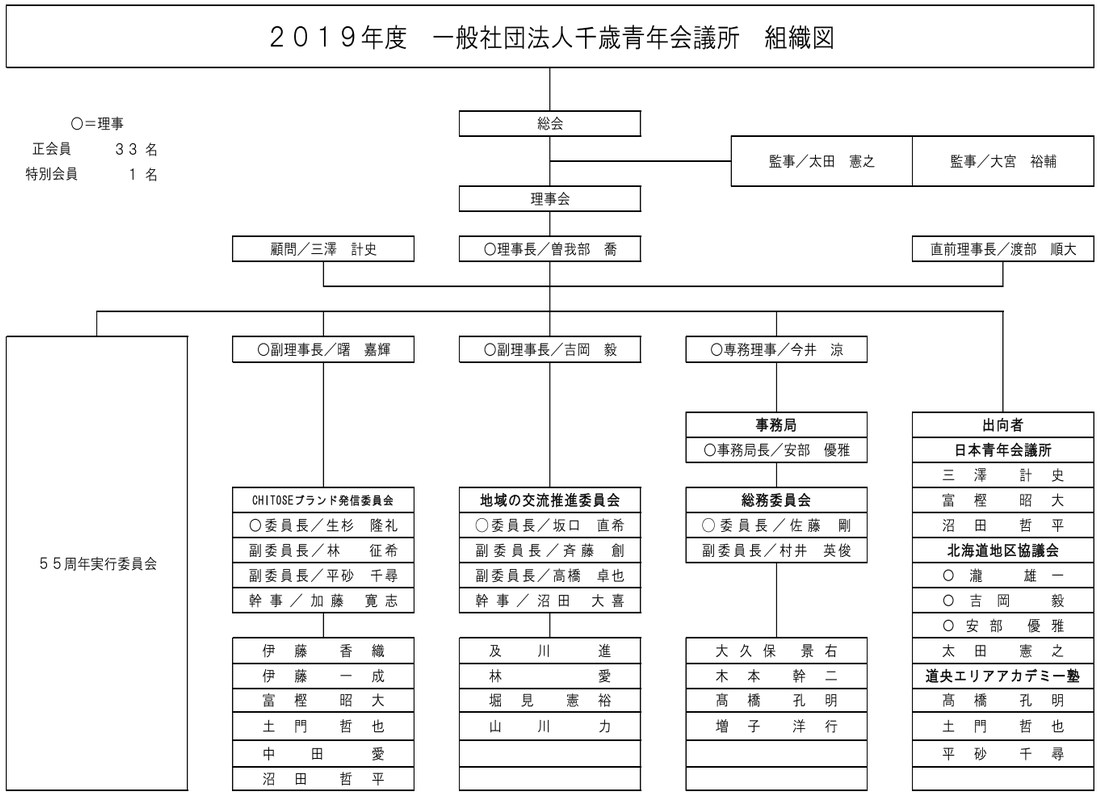
〒066-0042
千歳市東雲町3丁目2-6　千歳商工センター1F

TEL:0123-24-6868
FAX:0123-24-6868
URL:https://chitose-jc.com/
E-mail:mail@chitose-jc.com

目　　次

組　織　図
理事長報告……１～２Ｐ
事業・例会報告……３～４Ｐ
外部事業報告……10Ｐ
一般社団法人千歳青年会議所　創立55周年記念祝賀会……11Ｐ
活 動 報 告……12～17Ｐ
出向者報告……18～22Ｐ
会 長 褒 賞……23Ｐ
会員募集中……24Ｐ

組　織　図



理 事 長 報 告

２０１９年度　一般社団法人千歳青年会議所
第５６代理事長

曽我部　喬

日頃より一般社団法人千歳青年会議所の活動に対し、関係諸団体並びに千歳青年会議所ＯＢ会員の皆様には、多大なるご支援、ご協力を賜り深く感謝御礼申し上げます。令和に改元され新たな時代を迎えた ２０１９年、当会議所は「失敗したって構わない。仲間と共に挑戦するために志を持って行動しよう！」をスローガンに、正会員３０名体制でスタートいたしました。私自身、理事長所信をベースに３つの目標を持って、正会員とともに１年間運動を推進いたしました。

まず１点目として、新年交礼会の挨拶の際に宣言をいたしますが、千歳青年会議所創立５５周年を契機に運動方針の改定をし、これまでの例会、継続事業等を見直し、我々の活動に対して、地域住民の皆様や関係諸団体の皆様により共感を持ってもらえるよう、新たなことに挑戦する気概を持って、正会員一同、千歳青年会議所運動に取り組みました。新たな取り組みの一例として、２月例会では、市内の学生との交流並びに地域活動に対する意識向上を目的とした例会を開催いたしました。例会当日は、雪合戦を冬場に有効活用されていないサーモンパーク敷地内で開催をいたしました。また、６月、８月例会では、手法はそれぞれ違いましたが、千歳市内の外国人観光客の増加を背景に、インバウンド需要の受け入れ体制の意識向上を目的した例会を開催いたしました。さらには、今年度新たな事業として、ふるさと愛の醸成と人財育成のきっかけになることを目的とした、千歳リペアクラス２０１９を１０月に開催させていただきました。事業当日は、青葉公園の老朽化したベンチの塗装を市内小学生と親御さんを対象に実施いたしました。今回、今までにはない取り組みをするための例会、事業構築はやりがいがある反面、ゼロからイチを作り上げることは大変難しいことでありましたが全正会員が失敗を恐れずに志を持って行動してくれたお陰で、多くの共感者を獲得することができました。

２点目として、日本青年会議所が積極的に取り組んでいる社会課題を数値で表す事が出来るＳＤＧｓ と関連とした目標を各事業や例会で定め、運動に取り組んでいくことであります。２019年度は、ＳＤＧｓのターゲットでありますパートナーシップで目標を達成していくために、例年以上にスノーバスターズや花ロードなどの外部事業も含めた例会や事業で、多くの関係諸団体と連携を図りながら活動に取り組みました。また、今年度、運動方針を改定したなか、千歳青年会議所唯一の継続事業として第６回目となる千歳リバーシティープロジェクトを開催いたしました。事業当日、ＳＤＧｓの取り組みの一環として自然界の環境問題に配慮し、大型のＳＤＧｓパネルを会場に設置して、来場者にゴミの分別とエコカップの利用促進をいたしました。さらには、環境省主催の支笏湖国立公園７０周年記念事業と連携をするなど、過去最多の関係諸団体とパートナーシップをはかりながら千歳川とまち空間が融合した新たな価値観を創出した事業を展開したことで、３日間で、のべ８５００名の来場者にお越しいただきました。来年度も継続してＳＤＧｓに取り組んでいくとともに千歳川に特化した事業を展開してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

最後に、２０２１年度開催予定であります公益社団法人日本青年会議所北海道地区協議会第７０回北海道地区大会の主管に立候補することを決意し、立候補届書を提出いたしました。そして、９月に開催された会員会議所会議の際に開催地として千歳が承認されました。開催地として千歳が承認されるまでの間、全メンバーが一丸となって、千歳青年会議所のために行動をしてくれました。来年度以降、地域住民の皆様、関係諸団体並びに行政には開催趣旨にご賛同して頂けるよう、さらなる協力体制を構築していくために活動して参ります。

今年度、すべてがうまくいったわけではなく、課題や反省点等もございましたが、１年間、千歳青年会議所運動を展開できたのは地域住民の皆様、関係諸団体並びに先輩諸氏のご支援、ご協力のお陰であります。課題や反省事項については来年度体制にしっかりと引き継ぎをいたします。

結びになりますが、２０２０年度の千歳青年会議所運動がさらに発展することをご祈念申し上げて１年間の活動報告に代えさせていただきます。１年間ありがとうございました。

事業･例会報告

２０１９年度１月例会（新年交礼会）

開催日時	２０１９年０１月１６日（火）１８時００分～２０時３０分
開催場所	ＡＮＡクラウンプラザホテル千歳　２階　千歳の間
テーマ	失敗したって構わない。仲間と共に挑戦するために志を持って行動しよう！
主管	ＣＨＩＴＯＳＥブランド発信委員会

【委員長所見】

毎年開催される新年交礼会ですが、今年はより形式的な新年交礼会を心がけ、準備やリハーサルを入念に行うことにより、ミスの少ない新年交礼会となりました。来場された皆様からもたくさんのお褒めの言葉を頂き、２０１９年度のスタートをスムーズに切れたと思います。魅力溢れる千歳を創造する為には、正会員メンバー一人ひとりが輝く活動が出来る例会を作り上げる必要があると感じました。ご協力いただいた正会員及び特別会員の皆様、ありがとうございました。

２０１９年度２月例会

開催日時	２０１９年０２月０９日（土）１０時００分～１２時００分
開催場所	道の駅　サーモンパーク千歳
テーマ	まちの交流雪合戦　～２０１９ちとせ冬の陣～
主管	地域の交流推進委員会

【委員長所見】

平成最大の寒波が襲った例会当日ではありましたが、天候にも恵まれ海外の観光客や散歩中のご夫婦や通りすがりの方々が観戦したりなど、場所がサーモンパークということもあり色々な方々の目に留まる野外例会が行うことが出来ました。また色々な企業・団体の皆様に多大な協力をして頂き開催することの出来た例会ともなりました。ただ残念なことに懇親会の対外参加者が少なかったので、学生を懇親会に呼ぶ際には懇親会費を低目に設定することで参加のハードルを下げ、企業団体には事前当日にも参加してもらうように促し席順を固まることなく決めることによって、密な交流が出来たのかと思います。誰もが子供の頃に遊んだ雪合戦を本格的なスポーツ競技として昇華させたものを通して、地域との交流を創出できたと思っております。

２０１９年度３月例会

開催日時	２０１９年０３月１４日（木）１９時００分～２１時００分
開催場所	千歳商工会議所大会議室
テーマ	会員拡大討議会　～いっぱいメンバー増やさNIGHT～
主管	ＣＨＩＴＯＳＥブランド発信委員会

【委員長所見】

今年度初の会員拡大をテーマにした例会ということで、対内の拡大に対してのモチベーション向上を目的に開催しました。三澤顧問からモチベーションの向上に繋がる講話をして頂き、アンケートからも見て分かるとおり多くの会員の意識が向上したと感じています。また、今井専務から具体的な目標数を発表して頂き、明確な数字を共有することができました。そして、吉岡副理事長の手法の発表により、方向性を示すことができました。討議の時間にはたくさんの意見を交わし、一人ひとりが会員拡大について考える機会となりました。この例会を機に正会員全員が会員拡大に取り組み最終的には目標を達成することを願っています。講話をして頂いた御三方ならびに、準備と後片付けを手伝っていただいた正会員の皆様に心より感謝申し上げます。

２０１９年度４月例会

開催日時	２０１９年０４月１１日（木）１９時００分～２１時００分
開催場所	千歳総合福祉センター４０２号室
テーマ	～根づけ！千歳ふるさと愛！！～
主管	地域の交流推進委員会

【委員長所見】

本例会は事業の構築に難航している状況を踏まえ、会員全体で改めてこれまでのふるさと事業を学ぶ事で協力体制の強化を図ると共に、委員会としても前進する事を目的に開催しました。歴代の委員長によるプレゼンテーションにより、経験の浅いメンバーもそうでないメンバーも各々得た物があると思いますし、グループディスカッションで意見を交わした事で新たな気付きもあったと思います。私としては構築段階で委員長としての責務を殆ど果たせず、副委員長を中心とした委員会の頑張りと周囲の助けによって実施に至る事ができました。本例会の目的ともなっている協力関係の重要さを痛感したところでもありますので、この経験を活かして運動を推進していければと思います。

２０１９年度５月例会（３ＬＯＭ合同例会）

開催日時	２０１９年０５月０９日（木）１９時００分～２１時００分
開催場所	千歳市スポーツセンター（ダイナックスアリーナ）
テーマ	３５周年記念！つなげ３ＬＯＭの絆！
主管	総務委員会

【委員長所見】

本例会は、交流の意義、３ＬＯＭを継続させる意義を皆様一人一人に考えて頂くこと、感じて頂く事を目的に開催させて頂きました。当初我々委員会内でも３ＬＯＭ合同例会の継続について懐疑的な意見も出ておりました。しかし、他ＬＯＭのメンバーと合同委員会を重ね例会を開催できたことで継続されてきた意義や交流の魅力を感じることが出来たメンバーが多かったと感じております。アンケート結果でも、継続すべきとの声が予想以上に多く、３ＬＯＭ合同例会に寄せる期待の大きさを改めて感じることができました。また、当例会が交流のきっかけにつながりましたかという設問に 8 割の参加者がつながったと答えて頂いた点は、当例会が成功した部分ではないかと考えます。ドミノの完成を見ることは出来ませんでしたが、準備から片付けまで多くの皆様に御協力頂きました事、感謝申し上げ委員長所見とさせて頂きます。

２０１９年度６月例会

開催日時	２０１９年０６月１３日（木）１５時００分～１７時００分
開催場所	千歳商工会議所大会議室
テーマ	インバウンド×飲食店　～グローバルなおもてなしを目指して～
主管	ＣＨＩＴＯＳＥブランド発信委員会

【委員長所見】

市内飲食店が少しでもインバウンド受け入れに取り組んで頂き、千歳のまちの活性化に寄与できればという思いから当例会を開催させて頂きました。結果として市内飲食店はそれほど多くありませんでしたが、対外からは４０名の方に参加頂き盛会に開催することが出来ました。3名の講師の方からも例会後に良い例会でしたとお褒めの言葉を頂き、今後も青年会議所活動にご協力頂けることとなりました。これからも千歳のまちの活性化に寄与する団体としての例会や事業を行っていきたいと考えております。例会を開催するにあたり設営及び後片付けにご協力頂いた正会員の皆様に心より感謝申し上げます。

２０１９年度７月例会

開催日時	２０１９年０７月０７日（日）１０時００分～１３時３０分
開催場所	士別市民文化センター
テーマ	～第７０回北海道地区大会千歳大会獲得への道～
主管	三役

【三役所見】

千歳青年会議所として２０２１年第７０回北海道地区大会の主管獲得を目指し立候補しているなかで、主管を目指すＬＯＭとしての活力・気概を、会員会議所会議終了後の公開プレゼンテーションにて全道に向けてアピールさせて頂きました。開催理念やビジョンを共有した、多くのＬＯＭメンバーの姿をプレゼンテーション参加者にお披露目することができました。

ＣＨＩＴＯＳＥ　ＲＩＶＥＲ　ＣＩＴＹ　ＰＲＯＪＥＣＴ　２０１９

開催日時	２０１９年０８月０２日（金）～０４日（日）
開催場所	千歳川河畔公園及び河川敷
テーマ	～僕らの清流音楽祭～
主管	ＣＨＩＴＯＳＥブランド発信委員会

【委員長所見】

千歳青年会議所の一大継続事業のリバーシティープロジェクトに委員長として携われたことは大変光栄に思うと共に、たくさんの喜びと達成感を味わうことが出来ました。入会２年目で準備段階から右も左も分からず悪戦苦闘しましたが、委員会メンバーをはじめ正会員の皆様に支えて頂き、何とか事業を成立させることが出来ました。今までのテーマを大幅に変更し、より多くの来場者に楽しんで頂けるものをとの思いから、今まで携わってきたメンバーには本来の趣旨から逸れているようにも思わせてしまったこともあるかと思います。事業を通じて、私自身今まで携わってきたメンバーの思いというものを感じることが出来ました。参加動員目標数に達しなかったことは大変残念ですし、当初の計画段階から出店者数の減少等の変更を余儀なくしてしまったことを深く反省しております。また、委員会内でも話し合いましたが、当初掲げていた１０年構想から方向性が変わってきていると思うので、今後のリバーシティープロジェクトをどういう形を目指していくのかは、今一度検討する必要があるかと思います。最後に、至らない点も多々ありましたが、サポートして頂いた正会員の皆様に心より感謝しております。本当にありがとうございました。

２０１９年度８月例会

開催日時	２０１９年０８月２１日（水）１８時００分～２１時３０分
開催場所	千歳市民納涼盆踊りグリーンベルトメイン会場
テーマ	ＹＵＫＡＴＡ ＤＥ ＢＯＮＯＤＯＲＩ ２０１９
主管	総務委員会

【委員長所見】

まずは、雨天順延の為に急遽翌日に変更となったにも関わらずご参加頂きましたこと、心より御礼申し上げます。また、近年８月例会は浴衣の女王選手権を開催しておりましたが、本年継続せず楽しみにされていた市民の皆様のご期待を裏切る形となりましたことお詫び申し上げます。現在新千歳空港の拡充も行われており、海外旅行者は今後増々北海道にやって来ることが予想される中で、玄関口である千歳市も外国人旅行者等が今後も増えてくるものと考えます。そのような中で、日本の食や文化体験も千歳のまちの魅力の一つと成り得る事が本例会を開催して改めて感じることが出来ました。最後に浴衣の調達から、送迎、準備等奔走して頂いた委員会メンバーに御礼申し上げ委員長所見とさせて頂きます。

２０１９年度９月例会

開催日時	２０１９年０９月２８日（土）１２時００分～１７時００分
開催場所	千歳商工会議所大会議室
テーマ	役員会議　ｉｎ　千歳　～ＪＡＹＣＥＥとしての資質向上に向けて～
主管	地域の交流推進委員会

【委員長所見】

担当委員会として議案を構築することができず、三役のフォローがあってなんとか実施する事ができました。協議上程の頃から例会内容として相応しいかどうか、色々と意見を頂いてはいましたが、先に書いた通り議案構築に要するスケジュールすら確保できないのもまた一つの事実であり現状ですから、私としては、２０２１年度北海道地区大会の開催地として立候補するということは、こういった部分での対応は必要と考えております。

２０１９年度１０月例会

開催日時	２０１９年１０月２５日（金）１９時００分～２１時４５分
開催場所	ベルクラシック リアン 平安閣
テーマ	～青年会議所活動から得た学びとは～
主管	三役

【専務理事所見】

一年間、例会等を通じて会員拡大に取り組んでまいりましたが、北海道内の約７割の中小企業が後継者不在の問題点を抱えているなど、千歳市内においても３０代の起業家を含めた時間にゆとりのある経営者は決して多くはないのが現状です。また、一部のメンバーのみしか対外参加者の呼びかけができていないのは２０１９年度に始まったことではなく例年の課題であります。来年度以降の課題をクリアしていく手法としては、他ＬＯＭの成功事例を参考にしながら、拡大対象者のフィルターを外して４０歳未満の市内在住者であれば誰もが入会しやすくなるような賛助会員制度等の導入も視野に入れながら活動する必要があると実感をいたしました。

２０１９年度１０月事業　千歳リペアクラス２０１９

開催日時	２０１９年１０月２７日（日）１０時００分～１２時００分
開催場所	青葉公園
テーマ	～青葉公園をみんなの手で色鮮やかに！～
主管	地域の交流推進委員会

【委員長所見】

人財に満ち溢れた千歳の創造を目指すためにどんなことをすればよいか、これまでふるさと愛醸成のために行ってきた事業を継続する選択もあったなかで、迷い、限られた時間を有効にできぬ中、委員会メンバーを中心に沢山の支えがあり、千歳リペアクラス２０１９を実施する事ができました。参加して頂いたこども達は皆とても楽しそうであり、保護者の方々からも好評を頂き、狙い通り記憶に残るような事業を実施できたと思います。一方で、弱気な面が目標人数に達しなかった点や、塗装作業において時間に余裕があるなかでペンキが無くなってしまう結果に繋がりました。また、今回ふるさと愛を醸成することには成功したと思いますが、職業体験としての内容を更に盛り込めば、まちづくりの人財育成にも繋がったと思います。委員会メンバー一同が全力で挑み、今年出せるだけのものを出したと思っております。支えてくれた全ての皆様に感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

２０１９年度１１月例会

開催日時	２０１９年１１月１４日（木）１８時００分～２０時００分
開催場所	さけのふるさと　千歳水族館
テーマ	心をひとつに～２０２０年度の進む道～
主管	次年度三役

【次年度理事長所見】

まずは例会にご参加いただいたメンバーに厚く御礼申し上げます。本例会は次年度体制を理解していただき、委員会間の絆を醸成するきっかけとなればという思いを込めて構築させていただきました。各委員長議長には短い時間で次年度への思いをお話していただく機会を作ることで、活動方針を端的に説明することができるようになったのではないかと感じています。忠恕の精神を貫き通すことで個々人が成長し、それがＬＯＭの成長に繋がり、ひいてはこの千歳が成長していく、そんな次年度にしたいという思いをお伝えして次年度理事長所見とさせていただきます。

２０１９年度１２月例会

開催日時	２０１９年１０月２５日（金）１９時００分～２１時４５分
開催場所	ホテルグランテラス千歳　２階 大宴会場 鳳凰の間
テーマ	「誰一人取り残さない　皆様へ感謝を込めて」
主管	三役

【次年度専務理事所見】

今回の例会は、「感謝」と「２０１９年度らしさ」をコンセプトに三役主管のもと正会員の皆様に多くのご協力を頂き開催を致しました。２０１９年度らしさとしては、「誰一人取り残さない」をテーマに出席率１００％例会を目指しましたが、結果としては３３名中２９名と約８８％の出席率となりました。また、会員拡大対象者も参加対象として計画をしておりましたが、残念ながら動員につなげる事はできませんでした。また、ＯＢの皆様からの返信項目に「お祝いメッセージ」欄を設けた所、半数以上のＯＢから卒業生に向けたお祝いメッセージを頂く事ができました。また、ＯＢ会と連携し、ＯＢ会メーリングリストも活用させて頂いた事に感謝致します。また、今回、正会員・ＯＢ向けにアンケートを実施した所、沢山のフィードバックを頂くことができたので、しっかりと次年度へ引き継ぎを行って参ります。２０１９年度、最後の最終例会、主役である卒業生の皆様、率先して行動して頂いたメンバー、日頃から活動を支援頂いているＯＢの皆様、関わって頂いた全ての皆様に感謝致します。ありがとうございました。

外部事業報告

スノーバスターズ２０１９

開催日時	２０１９年０１月２６日（土）８時３０分～１１時００分

【事業概要】

当会議所が事務局を務める、青空東北会主催のスノーバスターズ。自衛隊の皆様をはじめとした市内企業の皆様、学生の皆様など本年は総勢７３３名のボランティアの皆様にご協力いただきました。独居老人宅の排雪場所の確保を目的にスコップを持ち寄り作業に取り組みました。

千歳ウェルカム花ロード２０１９

開催日時	２０１９年０５月２２日（水）９時００分～１２時００分

【事業概要】

北海道の空の玄関口である新千歳空港周辺をおもてなしの花で飾り、訪れる方々をお迎えすると共に、次世代を担う子供たちに「おもてなしの心」を育むことを目的としたシーニックバイウェイ北海道の活動の一つ。１７回目の本年は、悪天候により当日の植栽活動が中止となってしまい、子供たちとの作業は出来ませんでしたが、皆様の御協力を得て今年も道沿いを美しい花で彩る事が出来ました。

千歳川清掃２０１９

開催日時	２０１９年０８月３１日（土）８時００分～１１時００分

【事業概要】

千歳川清掃は、清流と緑を守る市民の会の主催により、市民、自衛隊、行政と共に千歳の魅力である清流千歳川を再認識してもらうことで、更なるふるさと愛の醸成を図っていくことを目的とした活動です。本年は、親子ずれなど３００名程の参加者が市内各地区に分かれ川の中や周辺のごみ拾いなど清掃活動を行いました。

一般社団法人千歳青年会議所 創立55周年記念祝賀会

開催日時	２０１９年０８月０２日（金）１４時００分～１６時００分
開催場所	ＡＮＡクラウンプラザホテル千歳　２階　千歳の間
テーマ	失敗したって構わない。仲間と共に挑戦するために志を持って行動しよう！
主管	創立５５周年実行委員会

【部会長所見】

一般社団法人千歳青年会議所創立５５周年記念祝賀会には全道各地より多くのご出席をいただきました。５０周年よりスタートした事業との連動も考え、事業初日として開催したこともあり、担当部会としては事業の準備と祝賀会の準備が重なり、慌ただしいスケジュールとなりました。しかし、当日は実行委員会全員の協力のお陰で、受付から閉会まで滞りなく進行することができ、対外・対内ともに、一定程度の効果はあったものと考えております。ご協力いただいたメンバーをはじめ、多くの関係者に心より敬意を表し、部会長所見とさせていただきます。

活　動　報　告

２０１９年度　一般社団法人千歳青年会議所
直前理事長
渡部　順大

まずは、曽我部理事長のもと、一年間というそれぞれの限りある時間や環境の中で、全力で活動して頂いた全ての会員、また携って頂いた方々に厚く御礼申し上げます。

本年は、「失敗したって構わない。仲間とともに挑戦するために志を持って行動しよう！」をスローガンに私も直前理事長として活動して参りました。曽我部理事長におかれましては、新年交例会の理事長挨拶の際に、このスローガンを高らかに宣言し、この一年間を時には折れそうな自らをも鼓舞し、仲間を支えながら理事長職を全うして参りました。その甲斐あってか、本年度は正会員の例会、事業へ参加率も高かったように伺えます。事業に対しましても、皆の力を集めしっかりと実行し、青年会議所として成すべくこと成し、結果として残してきたと思います。また、２０１９年度は、千歳青年会議所５５周年という節目を迎え、非常に会員一人一人の力を必要とする一年だったと考えます。周年イベントも無事皆様のおかげで成功し、新たな千歳青年会議所の幕開けになったのではないかと思います。

結びに、本年度の千歳青年会議所の活動にご尽力、ご協力頂きました関係各所の皆様、ＯＢ諸氏の皆様、会員をご輩出頂いた企業と会員のご家族の皆様には、心より感謝を申し上げ、直前理事長、渡部順大のご報告とさせて頂きます。

２０１９年度　一般社団法人千歳青年会議所
副理事長
曙　　嘉輝

本年度はＣＨＩＴＯＳＥブランド発信委員会の担当副理事長として、曽我部理事長が掲げたスローガン「失敗したって構わない。仲間と共に挑戦するために志を持って行動しよう！」のもと､Ｍｏｖｅｍｅｎｔ　Ｐｏｌｉｃｙ｢魅力に満ち溢れた千歳の創造｣に取り組んで参りました。昨年度の出向経験を活かし、委員会としての結束力をいかに構築してもらうか、一年間を通してどのように一連の流れを持って運動を推進していくかをテーマとして掲げた一年でしたが、生杉委員長の弛まぬ努力と委員会メンバーの頑張りのおかげで、事業、例会を通じて委員会メンバーの成長に貢献できたものと考えています。そして、その陰には三澤顧問をはじめとした皆さんの協力があったことにもこの場を借りて厚く御礼申し上げます。また、今年度から新たに取り組んだＳＤＧｓですが、議案構築段階からＳＤＧｓに定められたターゲットを設定することでメンバーへの意識醸成を行うことができました。来年度はさらにＳＤＧｓを浸透させるため千歳青年会議所だけの活動に留めず、メンバー企業を始めとして関係諸団体を巻き込んだ推進が必要です。

結びになりますが、千歳青年会議所の活動にご協力いただいた皆様と先輩諸氏、会員を輩出頂いている企業と会員のご家族に心から感謝申し上げ一年間の活動報告とさせて頂きます。

２０１９年度　一般社団法人千歳青年会議所
副理事長

吉岡　　毅

２０１９年度の一般社団法人千歳青年会議所は、創立５５周年を迎えた年であり、第５６代の曽我部喬理事長を筆頭に、様々な事に仲間と共に挑戦をした一年間でした。そして、これまで築き上げてきた集大成を未来に繋げるため、２０２１年度の第６８回北海道地区大会、千歳大会の開催が無事承認された年となりました。

私が副理事長として担当した、地域の交流推進委員会では、「人財に満ち溢れた千歳の創造」を軸に未来を担う若年層や他団体との交流や、４年間継続してきたふるさと事業に対し、メンバーの事業に対する理解や意識を醸成するためのディスカッションを行いました。その結果、事業の形を変え、市内小学校１・２年生とその保護者をターゲットとし、ふるさとを愛する心を持ち、将来のまちをつくる人財を育むことを目的に親子参加型、体験型の事業、「千歳リペアクラス２０１９」の開催に至りました。曽我部理事長が年当初、意図していたターゲット層とは大きな乖離があったものの、委員会メンバーが一丸となって事業構築に全力を注いだ事が、まさに、ＪＣＩミッションが掲げる「より良い変化をもたらす力を青年に与えるために発展・成長の機会を提供すること」であり、事業構築を通して個々の成長に繋がった事がＬＯＭとしての一番の収穫と考えます。

１年間、曽我部理事長のもと三役として職務を担えたこと、委員会メンバーの大きな成長に感謝し、１年間の報告とさせていただきます。

２０１９年度　一般社団法人千歳青年会議所
専務理事

今井　　涼

２０１９年度は、「失敗したって構わない。仲間と共に挑戦するために志を持って行動しよう！」スローガンに正会員一人ひとりが、例会並びに事業構築に専念できるような環境を構築していくことを念頭に１年間組織運営を事務局並びに総務委員会とともに実施いたしました。

また、千歳青年会議所創立５５周年記念祝賀会の開催や、２０２１年開催予定であります、公益社団法人日本青年会議所北海道地区協議会第７０回北海道会員大会の開催地に立候補するなど例年以上に、各地青年会議所メンバーや関係諸団体に対しての協力要請をすることが多かったことから対外の連絡調整機関として、正会員メンバーに迅速な情報発信をすることを心掛けました。結果的には、苦しい時期もありましたがこの１年間、多くの仲間に支えられたことで運動を展開していくための組織運営を全うすることができました。改めて、全正会員に感謝、御礼申し上げます。苦しい時に仲間に助けてもらった御恩は一生忘れることはないと思います。

結びになりますが、千歳青年会議所の事業、例会に多大なるご支援、ご協力を頂きました、関係諸団体並びに先輩諸氏に深く御礼申し上げます。また、１年間という限られた時間の中で、専務理事を全う出来ました事にも、重ねて御礼申し上げます。１年間、本当にありがとうございました。

２０１９年度　一般社団法人千歳青年会議所
顧問

三澤　計史

本年度は千歳青年会議所創立５５周年の年であり、単年度における運動の推進に加えて、周年式典や事業の実施に際し、多くの皆様にご協力、ご支援を賜り深く感謝申し上げますとともに、会員にとっても学び多き一年となりました。

５０周年を機に策定した中長期を見据えた運動方針を、当会の地域に寄与する青年団体と言う不変の理念を継承しつつも、社会の変化に対応すべく先の中長期を見越した運動方針へと改訂しました。具体的には過去５年間のビジョンで推進してきた市民主体のまちづくりの一貫であります「千歳市民討議会」の運営を完全に実行委員会へと移行し、我々の活動を市民運動へと昇華させたことが大きな成果でありました。他方で、我々の手から実務が離れると、会員の興味が薄れてしまったことから、本来我々の目指す市民運動の先駆者としての在り方に関する懸念点が残りました。

そして、本年度は「千歳で一番のＳＤＧｓ推進団体になる」という目標を掲げ、持続可能なまちづくりの観点から各事業を構築したことに加えて、「ＣＩＦ２０千歳科学国際フォーラム」にて、持続可能なまちづくりの事例を紹介したことは、当会の運動を多方面へと発信する機会となりました。

令和に改元され取捨選択の機会とうたわれ、合理化が追及されていく新時代に、ＪＣにおけるこれまでの組織論に変化が求められている中、伝統と可塑性を兼ね備えたより良い組織となっていくように今後も努めて参ります。

２０１９年度　一般社団法人千歳青年会議所
監事

太田　憲之

監事として２年務めさせていただきました。監事職をやる前には過去の歴代監事の先輩方の厳しさばかりを感じていましたが年々、あの時の厳しさは成長につなげるための厳しさだったのだなと感じるところであります。厳しさの中にも優しさがある指導を持ってメンバーの成長につなげていく事がこれからも必要だと思いますので、次年度以降の監事にも心からお願いする次第です。近年はメンバーの負担等を考慮して指摘が遠慮がちになってしまっている印象もありましたが、１年を通して委員会内の協力体制も徐々に固まり、例会・事業構築につなげていたように思います。一昨年から引き続きフロアメンバーの資質向上に取り組んでいたところではありますが、近年を見るとまちづくりにどうしても力が多く注がれている傾向にあるかと思いますが、青年会議所活動においてはＬＤ（Leadership Development 指導力開発～集団と個人の活性化）とＣＤ（Comunity Development 社会開発～まちづくり地域の活性化）は両輪であると言われますので、ＬＯＭアカデミーのような学びの機会や、入会歴のあるメンバーが歴の浅いメンバーに対して積極的に学びの機会を与えていけるような環境を作っていく事を次年度に期待いたします。２０２１年度の全道大会に向けて会員の拡大と併せて資質向上が図られます事を心から期待し、監事報告とさせていただきます。

２０１９年度　一般社団法人千歳青年会議所
監事

大宮　裕輔

本年度は、自身として千歳青年会議所の現役最後となる年を監事として携わらせていただきました。監事として、法人の業務運営状況を監査する役割はもちろんのこと、現役最後となるこの 1 年をこれまでの青年会議所活動の中で培った経験をどのように活かし、他の正会員に何を残すことができるのか、理事会でどのようなことを伝えることができるのか就任当初から思案し、手探りの中、活動を過ごした１年でした。運営全体に関しては、理事会審議後の議案が計画書通りに実施されず、報告に関しても上程期限が守られないケースも散見されましたが、５５周年記念式典など例年以上に事業ボリュームがある中で、理事メンバーを中心に精力的に各事業に取組んで頂いたと感じております。理事会では、議案の精度はもちろん、どのような事業を実施するのか以前に、なぜそれが必要なのか、なぜそれをする必要があるのかを理事の皆様に問いかけ、多くの意見を言わせていただきました。同時に、例会・事業を構築していく上で、まちづくり団体の一員として人を動かす気概や熱意の必要性も伝えさせていただきました。予定者の段階から１年以上にわたり、監事として活動する中で、十分目が行き届かず、反省しなければならない点も多々ありますが、最終年度を、理事を始めとする全正会員の皆様と共にまちづくりに関わり、私自身も成長させていただいたことに深く感謝申し上げ、監事報告とさせていただきます。

２０１９年度　一般社団法人千歳青年会議所
創立５５周年実行委員長

瀧　　雄一

一般社団法人千歳青年会議所は、１９６４年５月１０日、一般社団法人苫小牧青年会議所様のご支援、ご協力のもと、全国で２７２番目の青年会議所として誕生致しました。創立以来、５５年の永きに渡る先輩諸兄のご尽力とともに、市民の皆様、行政の皆様、関係団体の皆様、各地会員会議所の皆様にお支えいただき、５５周年を迎えられましたこと、心より御礼申し上げます。また、記念祝賀会開催の際にも、多くのご出席を賜わりましたこと、重ね重ねではありますが、厚く御礼申し上げます。本年は、これまでお支えいただいたすべての皆様へ「感謝」を伝える節目の年であり、私たちは、創始の精神を忘れずに過去から学ぶべきことを学び、メンバー一人ひとりが「感謝」の気持ちを持ち続け、未来のまちのため、次代を担う子どもたちのために、今後も行動し続けることで、常に社会の負託に答えられる組織を目指して参りました。今後も、すべての「感謝」を原動力に、６０周年に向けて運動を展開していくことをお約束申し上げるとともに、一般社団法人千歳青年会議所は、今後も地域に必要とされる組織を目指し、これまで同様に皆様方からのご支援をお願い申し上げ、創立５５周年実行委員長の報告とさせていただきます。

２０１９年度　一般社団法人千歳青年会議所
事務局長

安部　優雅

本年度は、事務局長という役職を与えて頂き、今井専務理事のもと、担当ラインの総務委員会と共にこの１年間活動して参りました。今年１年間千歳青年会議所の運動を展開していく為、メンバー１人１人が事業、例会の構築、運営をしやすい環境を作ることを考え、各委員会のサポートをさせて頂きました。担当ラインの総務委員会主管の３ＬＯＭ合同例会は３５周年の記念例会とし、３ＬＯＭ間の交流を深めることができ、８月例会では外国人の方に盆踊りと浴衣という日本の文化を体験して頂き、インバウンドの新しい可能性を見出すことができました。またスノーバスターズや千歳ウェルカム花ロード、千歳川清掃、千歳神社まつりなどの他団体が実施する事業への参画、外部との調整窓口として地域が行う社会貢献活動にも積極的に取り組んで参りました。特に、外部事業に関わることで、日頃より千歳青年会議所の活動を支援、ご協力頂いている団体との連携をさらに強めることができたと感じております。この１年、事務局長として運動の表に立って活動することはほとんどありませんでしたが、ＬＯＭの裏方として千歳青年会議所の運動を支えられたこと、そして専務理事をはじめとする総務委員会メンバーに支えられてこの役職を全うできたことに感謝の意を込めて、１年間の報告とさせて頂きます。

２０１９年度　一般社団法人千歳青年会議所
ＣＨＩＴＯＳＥブランド発信委員会　委員長

生杉　隆礼

２０１９年度ＣＨＩＴＯＳＥブランド発信委員会では、魅力に満ち溢れた千歳の創造を目指し、１年間活動してまいりました。まず、千歳青年会議所の運動の方向性を示すと共に、２０１９年度の取り組みに挑戦していく姿勢を見ていただくことを目的に新年交礼会を開催しました。そして、３月には年々会員数が減少傾向にある課題について、メンバーの会員拡大に対してのモチベーションを向上すべく、対内向けの例会を開催しました。また、地域経済の発展及び交流人口の拡大に向けた取り組みとして、市内飲食店及び関係団体に対しインバウンドの受け入れ態勢に前向きに取り組んで頂く事を目的に、産学官を代表して３名の講師の方をお招きし、６月例会を開催しました。さらに、６回目の開催となりました継続事業の「ＣＨＩＴＯＳＥ　ＲＩＶＥＲＣＩＴＹ　ＰＲＯＪＥＣＴ　２０１９」を開催しました。川に触れ合い千歳川での思い出となる体験をして頂き、千歳川への関心を高めることを目的として、延べ８，５００人の動員がありました。

結びに、多くのメンバーに支えられ１年間委員長を努めさせて頂き、多くの学びと感動を経験させていただき、本当にありがとうございました。例会や事業を開催するにあたり、市内関係者並びに先輩諸氏の皆様から多大なるご支援とご協力いただいたことに心より御礼を申し上げ、委員長の報告とさせて頂きます。

２０１９年度　一般社団法人千歳青年会議所
地域の交流推進委員会　委員長

坂口　直希

２０１９年度地域の交流推進委員会では、地域の新たな交流の機会を創出する事により、ふるさと愛の醸成と人財の育成を目的として３回の担当例会、そして事業を行い、可能性に満ち溢れた未来を創造して参りました。２月例会では、道の駅サーモンパーク千歳のイベント広場にスポーツ雪合戦コートを設営し、高校生・大学生を対象とし、公式大会経験者の協力のもと「まちの交流雪合戦」を開催しました。４月例会では正会員を対象とし、これまでの運動方針からＣＨＩＴＯＳＥ　ＪＣ　ＳＴＡＴＥＭＥＮＴに改定されたなかで、どういった運動を展開していけばよいかグループディスカッションを行い、意見を抽出するとともに協力体制の強化を図りました。９月例会では公益社団法人日本青年会議所北海道地区協議会の役員会議に参加することで、北海道地区協議会が展開する運動への理解を深め、ＪＡＹＣＥＥとしての資質向上を図りました。１０月に開催した事業「千歳リペアクラス２０１９」は４月例会で得た親子参加型、体験型をキーワードに小学校１、２年生および保護者を対象とし、青葉公園の老朽化したベンチを塗装体験のなかで修繕しました。こども達の記憶に残るような体験からふるさと愛を育む事ができました。

結びに、至らない部分が多々ありましたが、本当に多くの方に助けられ１年間を過ごす事ができ、貴重な経験をさせて頂いた事に感謝を申し上げます。

２０１９年度　一般社団法人千歳青年会議所
総務委員会　委員長

佐藤　　剛

本年は総務委員長という職務を拝命し、円滑なそして規律ある組織運営を目指し１年間従事させて頂くと共に、外部団体渉外担当として外部事業にも携わらせて頂きました。スノーバスターズ、千歳ウェルカム花ロード、千歳川清掃と毎年継続されている事業に携わる中で、行政の皆様、自衛隊の皆様、市内企業の皆様、学生の皆様等多くの地域住民の皆様のご協力なくして成し得ないものばかりである事を強く感じさせて頂きました。ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）の目標にもあるように、個人個人がそれぞれの立場による行動の先に繋がりを持ち、千歳市の発展に貢献する姿にパートナーシップの重要性を改めて認識する機会となりました。また、担当させて頂いた５月３ＬＯＭ合同例会では本年が開催３５周年という節目の年でございました。交流と親睦を深める事を目的に開催しＬＯＭ間の友情を育んで頂くよう開催させて頂きました。８月例会では、ＹＵＫＡＴＡ ＤＥ　ＢＯＮＯＤＯＲＩと題して、外国人を対象に浴衣の着付け体験、盆踊り体験を実施させて頂きました。今後もインバウンドによる海外旅行者の増加が見込まれる中で、千歳市もその恩恵を享受出来るような体験型観光の創出を目指し開催させて頂きました。

結びに、至らぬ私を一年間支えて頂いた委員会のメンバーに心より感謝申し上げますと共に、ご支援、ご協力頂きました先輩諸氏をはじめとした全ての皆様に感謝申し上げ委員長報告とさせて頂きます。

出 向 者 報 告

２０１９年度　公益社団法人日本青年会議所
消費者コミュニティ創出委員会　広報幹事

三澤　計史

本年度は本会の経済グループ消費者コミュニティ創出委員会に広報幹事として出向させていただきました。当委員会は日本各地における今後の経済情勢を見据えて、消費者側の視点から経済成長を促すコミュニティを創出し、日本各地の経済発展に寄与すべく設置された委員会です。広報幹事としての責務は各計画書作成段階における事業への共感者を獲得すべく広報戦略の立案から、各活動に関する告知や報告記事を作成し、本会の広報媒体でありますＦａｃｅｂｏｏｋやメルマガ、機関誌（ＷＥＢ版を含む）への投稿を依頼することでありました。また、二月に一度の頻度でＪＣ会館にて開催される本会の広報機関であります報道戦略会議と経済グループで行う広報戦略ミーティングにも参加することで、効果的な広報について学びました。
年度末には「ＰＦＣＣＣ－Ｐｌａｔｆｏｒｍ Ｆｏｒ Ｃｏｎｓｕｍｅｒ Ｃｏｍｍｕｎｉｔｙ Ｃｒｅａｔｉｏｎ（消費者コミュニティ創出プラットフォーム）」というＷＥＢサイトを立ち上げ、共通点をもつ人々によるコミュニティづくりのサポートや、既存のコミュニティ紹介を行うプラットフォームを構築しました。

私個人としては初めての本会出向でしたので、不安なことは多かったですが、多様な環境や立場で青年会議所活動を行う全国各地のメンバーと出会い、共に活動を行うことで新たな刺激を感じるとともに、ＬＯＭにも還元したいと思える貴重な経験をさせていただきました。

２０１９年度　公益社団法人日本青年会議所
消費者コミュニティ創出委員会　委員

富樫　昭大

青年会議所に入会して４年目で初めて日本青年会議所に出向させて頂きました。広報幹事で出向する三澤君から誘いを受けたのがきっかけで自ら選んだ委員会ではなかったものの、全国各地多くの仲間との出会いとコミュニティ強化を通じて地方創生の一役を担うという運動を経験できたことで実り多き一年になったと感じています。全国の地区大会開催地をＦａｃｅｂｏｏｋを使ってバズらせる為に頭よりも足を使って走り回ったことも良い経験ですが、毎月の委員会でメンバーと議論を重ねる熱を感じられたことが何にも変えられないものとなりました。前年に専務理事を経験させて頂き、これからの活動について迷っている中で青年会議所活動には出向含め一歩踏み出せば色んな世界があることを学べたことで今後の活動に可能性を高めることができました。そして、多くの選択肢の中から考えて自らの道を進めていくことがこの団体では大切だと気付くことができました。この貴重な出向の経験をメンバーと共有していくことが求められているので、肌で感じたことを皆に伝えて参ります。

出向するに当たって理事長を始めとするメンバーの皆さんや先輩諸氏にご協力頂いたことと、担当事業に対してご支援賜りましたことを深く感謝申し上げ、簡単ではございますが出向者報告とさせて頂きます。今後とも宜しくお願い致します。

２０１９年度　公益社団法人日本青年会議所
消費者コミュニティ創出委員会　委員

沼田　哲平

本年度公益社団法人日本青年会議所消費者コミュニティ創出委員会に委員として出向させていただきました。毎月全国各地で開催される委員会では毎回まちの魅力、課題に触れ自分が住んでいる千歳市の良さや問題点を改めて感じることができ様々な発見や気付きを頂きました。また、委員会開催地のＬＯＭメンバーには毎回心に残るおもてなしをして頂き、また来たいと思う出会いになりました、ありがとうございます。委員会ではＦａｃｅｂｏｏｋを活用し全国のＪＣメンバーの繋がり作りを考え、まちの魅力をどのようにどんな形で伝え、行ってみたいと思わせるかを話し合い地元住民しか知らない穴場スポットや、こてこての観光スポットなど、ＪＣメンバー同士だからこその情報をいかに皆に伝え、行ってみたいと思わせるか、ツールを使ってさらに発信をしてもらうかを話し合ったり、ＪＣのスケールメリットを活かして様々な貸し切り体験を企画し実行したり、健康な体を取り戻す為のツールを考えてメンバー同士競い合い気が付けば健康な体に！とＦａｃｅｂｏｏｋの新たな利用方法を考えることができました。今回の出向で得た経験を無駄にすることなく地域発展のため、地元から求められるＪＣでありたいと思います。出向させて頂いた千歳青年会議所メンバーに感謝申し上げ、出向の報告とさせていただきます。

２０１９年度　公益社団法人日本青年会議所　北海道地区協議会
日ロ平和醸成室　室長

瀧　　雄一

本年度は、公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会 日ロ平和醸成室 室長として出向する機会を与えていただきました。当室では、北方領土問題の解決に向けた運動と、日ロ両国の民間外交を推進する委員会を受け持ち、一年間活動して参りました。４月には節目となる「第５０次北方領土返還要求現地視察大会」を１９９９年度日本ＪＣ会頭 松山政司先輩、２０１９年度日本ＪＣ会頭 鎌田長明君をお招きし、全国各地よりお越しいただいた多くの参加者とともに開催致しました。また、７月には、日ロ青年経済対話事業として、ロシア ウラジオストク極東連邦大学内において、ロシア青年経済団体をはじめとする、多くの参加者や大学生とともにフォーラムを開催致しました。また、９月には、黒部ＪＣＯＢ 三井陽一郎先輩をお招きし、北海道地区大会北見大会 日ロフォーラムを開催致しました。鏡ブロック会長や長井委員長をはじめ、多くの仲間とともに、北海道内のみならず、海を越え、国境を越え、貴重な経験ができたことに、心より感謝を申し上げるとともに、このような機会を与えてくださいました曽我部理事長、千歳青年会議所メンバーの皆様にも心より感謝を申し上げ、出向者報告とさせていただきます。

２０１９年度　公益社団法人日本青年会議所　北海道地区協議会
道央エリア運営会議　運営議長

吉岡　　毅

本年、私は北海道地区協議会の地区役員、 道央エリア運営会議運営議長として大きな挑戦をさせて頂き、１６名の出向メンバーと共に道央エリア青年会議所の発展を目的に活動を展開致しました。 主な担いとしては、道央エリア会議の運営、道央エリアアカデミー研修塾の開催、全道アカデミーの開催、ウィンターコンファレンス、交流事業の開催、道央エリア大会の開催、ＪＣカップ少年少女サッカー全国大会予選大会の開催等、多岐にわたりました。

道央エリアアカデミー研修塾では、道央ＬＯＭ入会３年未満の６４名の塾生を対象に、地域やＬＯＭで必要とされる人財を育成するため、新たな同志との出会いや多くの気付きを得ることによる意識の変革や自己の成長を促し、全４回の研修塾を開催致しました。

ウィンターコンファレンス並びに第１回アカデミー研修塾は千歳で開催し、札幌ＪＣの村上彩子先輩を講師として、２０３０ ＳＤＧｓ カードゲームを実施し、第２回は、江別ＪＣの後藤一樹先輩、札幌ＪＣの中目雄介先輩、砂川ＪＣの増田拓也先輩を講師にリヴィエラ　サッポロでカジュアルな雰囲気の中「ＪＣ運動・ＪＡＹＣＥＥの可能性と価値」をテーマにトークセッションを開催。第３回では、夕張の地にて地域課題をテーマに塾生同士でディスカッションを実施し、日本ＪＣ専務理事をご経験された小田原ＪＣの上田博和先輩に「時代を捉え、地域再生へ」をテーマにご講演頂きました。 ７月の交流事業では従来の「スポーツ交流」から「ビジネス交流」に形を変え、札幌ＪＣの森田宣広君を講師に「ＪＣ＝ビジネス」をテーマにご講演を頂き、社会問題を解決するための手段としてのビジネスを踏まえ、ディスカッション実施致しました。

道央エリア大会美唄大会では「よっぽどの縁」をテーマに、大会メインフォーラムでは大谷徹奘先生にご講演を頂き、道央１５ＬＯＭの垣根を超えた縁や絆から生まれる連携の重要性や本年度紡がれた絆や想いを次年度に継承し、青年会議所運動の推進力を高めることを目的として開催いたしました。

１年間の活動を通して､道央１５ＬＯＭの絆がさらに深まり､輩出頂いた塾生が大きく成長し、一人でも多くの未来を切り拓く強い信念を持ったＪＡＹＣＥＥが誕生し、ＬＯＭへの還元に繋がれば幸いです。また､快く出向させて頂いたＬＯＭのメンバーと１年間共にエリアの発展のために活動頂いた運営会議の副議長､運営議員の皆様､エリア大会を共に創り上げた美唄ＪＣの皆様にこの場を借りて深く感謝申し上げます。１年間、本当にありがとうございました！

２０１９年度　公益社団法人日本青年会議所　北海道地区協議会
道央エリア運営会議　幹事

安部　優雅

本年度は道央エリア運営会議の幹事として、吉岡議長と共に出向させて頂きました。道央エリア運営会議では道央エリア会議の運営、道央エリアアカデミー研修塾、ウィンターカンファレンス、交流事業、道央エリア大会、ＪＣカップ少年少女サッカー全国大会予選大会の開催など、多くの担いがありました。吉岡議長が事業を構築し、開催していく中で、道央エリアの専務理事の皆様や道央エリア運営議員メンバー、アカデミー生との連絡調整や、各会議や事業の会場の調整、各事業の受付業務など、裏方としての担いが多かったのですが、これらを通じて道央エリアがどのように運営されているか学ぶことができ、また道央エリアの多くのメンバーとも交流することができました。今まで一メンバーとして参加する事しかなかったエリアの事業にメンバー一人一人がどのような想いを持っているのかを知ることもできました。特に美唄で開催された道央エリア大会では、「よっぽどの縁」をテーマに、美唄青年会議所の理事長をはじめとするメンバー一人一人の想いが込められたエリア大会が開催されていく様子を目の当たりにし、２０２１年度地区大会を控えた千歳青年会議所が主管ＬＯＭとしてやるべきことを深く考えさせられることとなりました。出向を通じて学んだことをＬＯＭの活動に生かしていきたいと思います。また、このような経験をさせて頂き、本当にありがとうございました。

２０１９年度　公益社団法人日本青年会議所　北海道地区協議会
日ロ交流推進委員会　委員

太田　憲之

本年度は瀧雄一君が室長を務める室のラインである日ロ交流推進委員会に出向をさせていただきました。主な事業といたしましては、ロシア青年経済人とのビジネスマッチングのための各種勉強会や北方領土問題に対する啓発運動や歴史認識を学ぶ機会の創出などがありました。また、担当の委員長が飲食店の経営者であり料理人だった事もあり、食を通じた交流を中心に事業を構築して参りました。委員長自らがロシアの大学に行き、日本の伝統食であるおにぎりと味噌汁のワークショップと実際の作り方の講義を行なったり、札幌ではロシア料理店と協力し本格的なロシア料理と和風にアレンジしたロシア料理を食べ比べながらロシアの現状やコミュニケーションについて在日ロシア人関係者の方と意見交換を行なう等、普段の生活ではあまり体験できない経験をさせていただきました。自分の仕事と関係する事もあり、１年間積極的に参加させてもらって特に感じた事は、日本人が隣国であるロシアについてあまりにも知らない事が多い事、また北方領土問題という言葉は知っていても、歴史的経過や双方の主張に関して知っている人が少ない現状であるという事です。また北方領土現地視察大会の際に日本ＪＣ日ロ友好の会の方々をアテンドする機会があり、国を動かすくらいの民間外交をＪＣが行なってきた歴史を聞く事もできました。ここでは語りつくせぬ程の学びを得る事が出来た出向の１年でした、ありがとうございました。

２０１９年度　道央エリアアカデミー研修塾　塾生

髙橋　孔明

２０１９年度に千歳青年会議所に入会し、道央エリアアカデミー研修塾に出向させて頂きました。私はブルーグループに属させて頂きましたが、ブルーグループは入会し日が浅いメンバーが多く、他ＬＯＭとの交流でも、どのようなきっかけで入会したのか、ＪＣに入ってみてどうかという会話が多く、他ＬＯＭの現状などさまざまな意見を聞く良い経験になったと思っております。このアカデミーでの学びや他ＬＯＭで出来た仲間など貴重な経験を今後のＪＣ活動に生かして参ります。最後に、アカデミー研修塾を運営して頂いた皆様、出向の機会を頂いた千歳青年会議所の皆様に感謝申し上げます。

２０１９年度　道央エリアアカデミー研修塾　塾生

土門　哲也

２０１９年度道央エリアアカデミー研修塾に出向したことにより、千歳から飛び出し道央エリアを越え、北海道という範囲で見聞を広げることが出来ました。４月に開催された全道アカデミーでは根室へ赴き、第５０次北方領土返還要求現地視察大会に参加するきっかけとなりました。このような機会が無ければ現地視察大会への参加はしていなかったと思っています。どこか遠いところで起きていると考えていた北方領土問題の現状を肌で感じることが出来ました。１０月に美唄で行われたエリア大会では、薬師寺執事長の大谷徹奘師の講話「心の授業」を聞き、強い感銘を受けました。「よっぽどの縁」この言葉を心に刻み、ＬＯＭでの活動に生かして参ります。

２０１９年度　道央エリアアカデミー研修塾　塾生

平砂　千尋

私は時間を上手く調整する事ができず、残念ながらアカデミー研修塾１００パーセント出席には至りませんでした。ＪＣ活動を行う多くの人は、仕事、家庭をもって多忙を極めています。今思えばそんな中だからこそ共に時間を共有する事の貴重さに感謝が生まれ、得難い経験や真の友情に出会える事があるのかもしれません。少しだけ無理をしてアカデミー研修塾に取り組めば良かったと心から反省しています。待っていては何も得る事はなく、入ったからにはやらなければもったいない。やるからにはより楽しく、より有益に。という教訓を今後自分に言い聞かせて精進して参ります。アカデミー研修塾に参加させて頂きありがとうございました。

会 長 褒 賞

年間例会出席率１００％会員褒賞受賞者

曽我部　喬

曙　　嘉輝

吉岡　　毅

三澤　計史

安部　優雅

平砂　千尋

土門　哲也

中田　　愛

坂口　直希

佐藤　　剛

特別会員褒賞

会員拡大賞　会員拡大に最も尽力された委員会を選出し表彰

受賞委員会　ＣＨＩＴＯＳＥブランド発信委員会

新人賞　入会３年以内の会員の中で最も活躍した正会員を表彰

受賞者　生杉　隆礼

入会年度　２０１８年

ＭＶＰ賞　２０１９年度、最もＪＡＹＣＥＥとして活躍した正会員を選出し表彰

受賞者　佐藤　　剛

入会年度　２０１８年

ベスト例会（事業）賞

最も記憶に残り、一丸となって例会事業を構築した委員会を選出し表彰

受賞委員会　ＣＨＩＴＯＳＥブランド発信委員会【CHITOSE RIVER CITY PROJECT 2019】

受賞委員会　総務委員会【8 月例会 YUKATA DE BONODORI 2019】

会員募集中!!

例会・事業の
オブザーブ大歓迎！
お問合せ下さい。

一緒にまちづくり運動しませんか？

昨今の経済低迷化の中、必要とされているのは私たち若い世代の活力であり、それぞれ個人の資質を向上し、企業に還元することでより良い世の中が実現されると私たちは考えております。青年会議所という団体は、時代の流れを受けより地域社会に必要とされる運動を展開しながら、地域社会の発展を真剣に考えている団体なのです。今までも本当に多くのメンバーが在籍し、それぞれが地域社会や国を舞台に今も活躍しております。

入会に際して所属されている企業・経営している企業の形態や規模は入会に際して一切関係はありません。個人経営の方から、一般サラリーマン、OL の方たちから、企業の経営者、役職者まで幅広い多くのメンバーによって構成されております。

この困難とされる時代だからこそ、一緒にまちづくり運動を通じて自己の成長、企業の発展を目指していきませんか？

お問合せお待ちしております。
電話：０９０－４５５２－６４０２【事務局（佐藤)】
ＦＡＸ：０５０－３５８８－２４３６
Mail：mail@chitose-jc.com
ホームページ：https://chitose-jc.com/